

# 第1回 ポリナビワークショップ in 大阪

## ～看護の未来を伝えよう～

大阪府看護連盟青年部 近畿大学医学部附属病院

毛野 和代

大阪の青年部は2009年11月に発足しました。それから「大阪にもポリナビワークショップを☆」合言葉に毎月1回他施設の仲間が集まり、準備に取り組んできました。月1回の定例会では看護の歴史について学び、真夏の炎天下で「看護について」の街頭インタビューを行い「看護」について今まで知らなかったことを知る機会が持てました。また、大阪看護連盟の前川会長が「今から約30年前の夜勤手当は100円で、夜勤は1週間続けてしてたんですよ。」という言葉に驚きを覚えました。今から約30年前の看護界は今では想像することができないくらい過酷な世界であったようです。それを、先輩看護師たちが変えてくださったことを教えてもらいました。そんな「看護」の歴史やイメージを踏まえ、私たちはポリナビワークショップで話し合う事にしました。

2010年12月19日(日)に青年部主催の第1回ポリナビワークショップ in 大阪をクレオ大阪東で開催することができました。今回のテーマは「看護の未来を伝えよう」ということで看護の未来についてみんなで語り合う機会にしました。各支部から若者約100名が参加し、3時間ほど交流を深めることができましたと思います。

グループワークといっても面識のない人との語り合いに、始めは意見が出にくかったのですが、時間とともにそれぞれが「自分の考える看護の未来」を話せたと思います。「看護師」という共通項があるだけで、初めて会った人にでも自分の夢を話せることはすごいことだと思いませんか？

後半は自民党・前衆議院議員の中山泰秀先生の「政治家としての夢」を聞かせて頂きました。先生の講演は力強く、私たち看護師も先輩の作ってくださった環境をただ進むのではなく、より良い環境へ自分達で築いていくことの大切さを強く感じました。

看護の未来について若者自身も考え行動に移し、子どもの憧れる職業にしたいと思いました。